

資料3

中野市公の施設に係る指定管理者の令和3年度事業評価結果

指定管理者事業評価 年度評価の基準について

1 評価内容

市と指定管理者との間で締結している協定や仕様書等を遵守して、適正に施設の管理・運営を行っているかについて、下記の項目ごとに評価(判定)し、年度評価を行ってください。

評価区分	評価内容
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか。
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか。
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか。
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか。
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか。
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。
	④ 労働関係法令を遵守したか。

2 評価区分別の評価基準

(1) 判定基準

評価内容の判定に当たっては、下記評価基準表を参考にしてください。

区分	評価内容	基準	判定	条件	備考
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	◎: 前年度利用者数 +10%以上 ○: 前年度利用者数 -9%~+9% △: 前年度利用者数 上記以外	◎	大きく増加した	自動判定 前年度利用者数と評価対象年度を比較
			○	増加した(平年並み)	
			△	減少した	
			—		
			—		
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	所管課判断 ・3利用者ニーズへの取組みに記載されている意見及び対応状況 ・利用者意見を収集する姿勢が見られるか	◎	利用者満足度が向上している	
			○	利用者ニーズへ適切に対応している	
			△	アンケート等利用者意見収集をしていない	
			—		
			—		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	所管課判断	◎	適切に対応し規定や体制に改善を行った	
			○	適切に対応した	
			△	不適切な対応があった	
			—		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	所管課判断	◎	市民サービス向上に新たな取組みを実施した	
			○	計画通りに実施した	
			△	計画していたものを実施していない	
			—	自主事業を行う施設ではない	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	所管課判断	◎	情報公開を実施した	
			○	体制を整えている	
△			体制が整っていない		
—					

(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	所管課判断 当該年度の年度計画書等と比較判断	◎ 計画を上回る収入を得られた	
			○ 計画どおりの収入を得られた	
			△ 計画を下回った	
			—	
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	所管課判断	◎ 取組みにより明確に効果があった	
○ 取組みによる効果はわずかである				
△ 取組みが見られない				
—				
③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	所管課判断	◎ 取組みにより明確に効果があった		
		○ 取組みによる効果はわずかである		
		△ 取組みが見られない		
		—		
④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	所管課判断	◎ 会計監査人による監査を受けている	自動化不可	
		○ 適切かつ明確に区分されている		
		△ 経理区分が明確でない		
		— 指定管理又は自主事業の一方のみ		
⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	所管課判断	◎ 会計監査人による監査を受けている	自動化不可	
		○ 適正に管理されている		
		△ 適正な管理がされていない		
		— 備品を持っていない		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	所管課判断	◎ 法令、仕様書等の基準以上の取組みを実施した	自動化不可
			○ 法令、仕様書等の基準に定めたとおり実施した	
			△ 基準に満たなかった	
			—	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか。	所管課判断	◎ 仕様書等の基準以上の取組みを実施した	自動化不可 研修例:コンプライアンス研修、救命救急講習、AED操作研修等業務に必要な研修。 ※法定研修(防火管理者、食品衛生管理者等)は除く。
			○ 仕様書等の基準に定めたとおり実施した	
			△ 仕様書等の要求を満たしていない	
			—	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか。	所管課判断	◎ 仕様書等の基準以上の取組みを実施した	自動化不可 毎月の業務報告書は翌月に、年度報告書及び自己評価調査は事業年度終了後、30日以内に提出することとなります。
○ 規定のとおり実施した				
△ 遅滞があった				
—				
④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか。	所管課判断	◎ 仕様書等の基準以上の取組みを実施した	自動化不可	
		○ 規定のとおり実施した		
		△ 規定を満たしていない		
		—		
⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	所管課判断	◎ 改善指示は無かった	自動化不可 管理運営改善状況等報告書の内容についても改善事項として考慮してください。	
		○ 改善指示に適切に対応した		
		△ 改善指示への対応が不十分だった		
		—		
⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	所管課判断	◎ 有資格者等の配置など体制の強化に努めた	自動化不可 訓練例:防災訓練、防犯訓練等	
		○ 訓練実施及びマニュアルが整備されている		
		△ 訓練実施及びマニュアルの整備がされていない		
		—		
⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	所管課判断	◎ 事件・事故は発生しなかった	自動化不可	
		○ 事件・事故に適切に対応した		
		△ 事件・事故への対応が不十分だった		
		—		
⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	所管課判断	◎ 有資格者等の配置など体制の強化に努めた	自動化不可	
		○ 法令、仕様書等の基準に定めたとおり実施した		
		△ 体制に不備がある		
		—		
⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか。	所管課判断	◎ 積極的な協議を行いサービス向上に努めた	自動化不可	
		○ 適時協議を行った		
		△ 必要な協議を行っていない		
		—		

(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	所管課判断	◎	有資格者等の配置など体制の強化に努めた	自動化不可
			○	規定のとおり配置している	
			△	配置していない	
			—		
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	所管課判断	◎	有資格者等の配置など体制の強化に努めた	自動化不可
			○	法令、仕様書等の基準に定めた通り配置した	
			△	仕様書等の要求を満たしていない	
			—		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	所管課判断	◎	仕様書等の基準以上の取組みを実施した	自動化不可 研修例:接客(おもてなし)研修、英会話研修、チラシ・ポップ作成研修など。 ※法定研修は除く。
			○	仕様書等の基準に定めたとおり実施した	
			△	仕様書等の要求を満たしていない	
			—		
	④ 労働関係法令を遵守したか。	所管課判断	◎	仕様書等の基準以上の取組みを実施した	自動化不可
			○	遵守している	
			△	遵守していない	
			—		

(2) 区分評価について

評価内容の判定結果に応じて、次の評価基準に従って区分評価を決定します。

区分評価	評価基準
S	△がなく、◎が5割以上の場合
A	△がない場合
B	△が3割以下の場合
C	△が3割を超える場合

3 総合評価の基準

区分評価の結果に応じて、次の評価基準に従って総合評価を決定します。

総合評価	評価基準
S (優良)	B・Cがなく、Sが2つ以上の場合
A (良好)	B・Cがない場合
B (一部改善)	Cがなく、Bが1つ以上の場合
C (抜本的改善)	上記以外

※総合評価結果、改善指導方針については評価確定後、施設所管課より全指定管理者に周知・指導してください。

改善が必要な施設には速やかにその旨を指導し、改善を促すこととしてください。

中野市公の施設に係る指定管理者の令和3年度事業評価結果一覧

(令和4年3月31日現在)

施設状況		年度評価結果	前年評価結果
1	施設名	中野市デイサービスセンター さくら	
	指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	
	施設概要	事務室、訓練室、休養室、食堂、浴室	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	利用の許可に関する業務 介護保険法及び中野市デイサービスセンター条例に基づく業務	
	担当課	高齢者支援課	
2	施設名	中野市福祉ふれあいセンター及び中野市さんさん館(計3施設)	
	指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	
	施設概要	ふれあいセンター(身体障害者福祉ふれあいセンター、母子通園訓練施設、共同作業訓練施設) ふれあいセンター永田分場(共同作業訓練施設) さんさん館(調理室実習室、研修室、身障者用トイレ)	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	ふれあいセンター 条例に定める事業(身体障害者福祉、母子通園、共同作業) さんさん館 施設の管理運営、維持管理及び保守管理	
	担当課	福祉課	
3	施設名	中野市精神障害者社会復帰施設(計2施設)	
	指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	
	施設概要	中野市りんごの木共同作業所(作業室、展示室、休憩室、食堂、事務室等) 中野市びあワーク就労支援施設(作業室、静養室、会議室、食堂、事務室等)	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料(りんごの木)、利用料金制(びあワーク)	
	主な実施事業	条例に定める事業(生活訓練、作業訓練、就労指導)	
	担当課	福祉課	
4	施設名	中野市民プール	
	指定管理者	シンコースポーツ 株式会社長野支店	
	施設概要	管理棟、競泳プール、流水プール、幼児プール、スライダー	
	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	プール施設管理運営業務、指定管理者による自主事業(水泳教室などのイベント)	
	担当課	文化スポーツ振興課	

施設状況		年度評価結果	前年評価結果
5	施設名	中野市民体育館ほか体育施設(計15施設)	
	指定管理者	中野市体育協会	
	施設概要	中野市北公園、中野市民体育館、中野市コミュニティースポーツセンター、中野市営野球場、中野市営運動場、中野市武道館(柔剣道)、中野市営テニス場、中野市弓道場、中野市篠井川河川敷運動広場、中野市屋内運動場、中野市営豊田テニス場、中野市営豊田野球場、中野市営豊田マレットゴルフ場、中野市永田社会体育運動場、中野市B&G海洋センター	
	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業	
	担当課	文化スポーツ振興課	
6	施設名	中野市多目的サッカー場	
	指定管理者	中野市体育協会	
	施設概要	サッカーグラウンド、管理棟	
	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	サッカー場施設管理及び運営	
	担当課	文化スポーツ振興課	
7	施設名	中野市農村環境改善センター(帯の瀬ハイツ)	
	指定管理者	公益社団法人 中野広域シルバー人材センター	
	施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室、多目的ホール、事務室、農事相談室、健康相談室、浴室、管理人室、機械室、倉庫、トイレ	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	各会議室、調理実習室、浴室等の貸館事業	
	担当課	農業振興課	
8	施設名	中野陣屋・県庁記念館	
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	
	施設概要	展示室、コミュニティホール、土蔵、トイレ、談話室、事務室、倉庫、会議室、ギャラリー(画廊)、多目的ホール	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	管理運営事業、自主事業(特別展、喫茶運営等)	
	担当課	商工観光課	

施設状況		年度評価結果	前年評価結果
9	施設名	中野市観光会館・日本土人形資料館	
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	
	施設概要	展示室、茶室、会議室、事務室、体験室、トイレ、倉庫、外周の手すり及び回廊、前庭、駐車場	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	施設の使用方法に関すること 自主事業に関すること(お土産販売事業、絵付け体験事業)	
	担当課	商工観光課	
10	施設名	信州中野観光センター	
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	
	施設概要	ホール、事務室、トイレ、倉庫、駐車場	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	施設の観覧に関すること 自主事業に関すること(アンテナショップ事業、売店事業、イベント事業)	
	担当課	商工観光課	
11	施設名	中野市晋平の里間山温泉公園(ぼんぼこの湯)	
	指定管理者	(株)リープクリエイティブス	
	施設概要	ぼんぼこの湯全施設、マレットゴルフ場全施設、ログコテージ全施設	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	施設の管理運営、 自主事業に関すること(温泉事業、売店事業、食堂事業、マレットゴルフ事業、ログコテージ事業)	
	担当課	商工観光課	
12	施設名	中野地域職業訓練センター	
	指定管理者	職業訓練法人 中高職業訓練協会	
	施設概要	施設管理業務、自主事業(職業能力開発校ほか)	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業(職業能力開発校ほか)	
	担当課	商工観光課	
13	施設名	中野市まちなか交流の家	
	指定管理者	なっちょ合同会社	
	施設概要	体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、倉庫	
	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	施設の管理運営、土人形の絵付け指導、指定管理者による自主事業(施設内絵付け体験事業、出張絵付け体験事業、土人形制作販売及び付随品の販売、中野土人形販売)	
	担当課	商工観光課	

施設状況		年度評価結果	前年評価結果	
14	施設名	中野市関係人口創出拠点施設	B	—
	指定管理者	(株)リープクリエイティブス		
	施設概要	交流スペース、コワーキングスペース・レンタルオフィス、多目的ルーム(宿泊、オフィス利用)		
	指定期間	令和3年10月1日～令和7年3月31日(3年6ヶ月間)		
	収入	指定管理料+利用料金		
	主な実施事業	貸しスペース事業・飲食店運営事業、宿泊事業		
	担当課	商工観光課		
15	施設名	一本木公園ほか(計3施設)	A	C
	指定管理者	一般社団法人 一本木公園バラの会		
	施設概要	○一本木公園:多目的広場、修景広場、野外ステージ、遊戯広場、林間プロムナード、あずまや(全面積3.4ha) ○一本木公園展示館 ○一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム		
	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な実施事業	施設及び設備の維持管理事業、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業		
	担当課	都市計画課		
16	施設名	高梨館跡公園	A	B
	指定管理者	有限会社 山本組		
	施設概要	高梨邸、駐車場、土塁、空堀、庭園、建築跡、木橋ほか(全体面積1.8ha)		
	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な実施事業	施設及び設備の維持管理事業、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業		
	担当課	都市計画課		
17	施設名	北信濃ふるさとの森文化公園	A	B
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社		
	施設概要	温室・昆虫館、サマーボブスレー及び遊具等、マレットゴルフ場、オートキャンプ場、多目的グラウンド、デイキャンプ場、ハーブ園(全面積15.4ha)		
	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な実施事業	施設及び設備の維持管理事業、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業		
	担当課	都市計画課		

施設状況		年度評価結果	前年評価結果
18	施設名	中野市豊田農産物加工施設	
	指定管理者	中野市豊田農産物加工施設利用組合	
	施設概要	加工室、研修室、材料搬入室、材料庫、熟成室	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	おやき、味噌、アップルパイ加工販売	
	担当課	地域振興課	
19	施設名	南永江地区地域交流センター	
	指定管理者	南永江自治会	
	施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室	
	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業	
	担当課	地域振興課	
20	施設名	中野市豊田温泉公園(もみじ荘)	
	指定管理者	ユアーズ静岡 株式会社	
	施設概要	もみじ荘、食堂、休憩コーナー、ゲートボール場	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料、利用料金	
	主な実施事業	温泉・食堂・特産品販売	
	担当課	地域振興課	
21	施設名	中野市斑尾高原体験交流施設(まだらおの湯)	
	指定管理者	株式会社 斑尾	
	施設概要	まだらおの湯・食堂・休憩コーナー・キャビンハウス・キャンプ場・マレットゴルフ場	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	利用料金	
	主な実施事業	温泉・食堂・特産品販売	
	担当課	地域振興課	
22	施設名	中野市豊田ふるさと交流館(道の駅)	
	指定管理者	株式会社 斑尾	
	施設概要	道の駅・交流室・特産品販売コーナー・食堂・休憩コーナー・農産物直売所	
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	
	収入	指定管理料	
	主な実施事業	食堂・特産品販売	
	担当課	地域振興課	

資料3

中野市公の施設に係る指定管理者の令和3年度事業評価結果

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	健康福祉部高齢者支援課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市デイサービスセンターさくら						
指定管理者	社会福祉法人中野市社会福祉協議会	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				
根拠法令	介護保険法						
設置条例	中野市デイサービスセンター条例						
施設設置目的	在宅高齢者の通所介護サービスを実施する。						
施設概要	事務室、訓練室、休養室、食堂、浴室						
施設の主な実施事業	利用の許可に関する業務、介護保険法及び中野市デイサービスセンター条例に基づく業務						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	さくら(すみれ)利用者実人数(人)		883	930	94.9%		
	さくら(すみれ)利用者延人数(人)		8,018	8,640	92.8%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	81,311,572	79,783,000	1,528,572	71,707,749	69,044,674	2,663,075
	自主事業	0	0	0	0	0	0
合計	81,311,572	79,783,000	1,528,572	71,707,749	69,044,674	2,663,075	
職員の配置状況	所長1名 所長代理1名 生活相談員4名 看護師3名 介護員6名						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】	→	
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	○		A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	利用者については、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や利用控えから前年度に達してはいるが、定員を30名から35名に変更し、利用者増加に努めている。今後も感染拡大防止対策を徹底し、必要なサービスを提供できるようお願いしたい。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理・運営に当たっては、利用者のニーズを把握し、効果的・効率的な事業運営と利用者に満足していただけるサービス提供に努めている。
(2) 財務の視点	A	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者福祉センターのふれあい講座では、新型コロナウイルス感染症予防のための検温器・手指消毒液等の設置、感染症予防に関わる周知等について注意喚起や講座の時間帯を分けるなど工夫をしながら実施している。感染警戒レベルの動向みながら、受講人数が多くソーシャルディスタンスの確保が難しい講座については、やむを得なく中止とする対応を行った。
(3) 業務の視点	A	<ul style="list-style-type: none"> 共同作業訓練施設「竹馬」では、一般就労へつながるよう施設外就労を活用し、市内キノコ工場での筒かぶせ作業に取り組んだ。またぶどうパックのシール貼り、中野庁舎の清掃、年賀状印刷など請け負い、多種多様な作業経験ができるよう努めている。
(4) 人材の視点	A	<ul style="list-style-type: none"> 共同作業訓練施設「たんぼぼ」でも、社会復帰を目的として、作業所内だけでなく施設外訓練としてタオルの洗濯作業、公衆トイレ清掃作業に取り組んだ。またラジオ体操・ストレッチだけでなく歩行訓練や地域の方と接する機会を設けている。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 心身障がい児母子通園施設「いちご学園」では、保育園との交流保育がコロナ禍で行えなかったが情報交換を密に行いスムーズな入園に繋がっている。保護者の困り事を関係機関に繋げている。北信総合病院の先生による専門的なりハビリ、音楽教室としてリズム教室を開催。
良 好		<ul style="list-style-type: none"> 環境美化について、バラボランティア養成講座を実施、ふれあいセンターのバラ手入れを定期的実施、地域の皆さんやデイサービスセンターの利用者にバラ見学など楽しんでいただいている。

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	健康福祉部福祉課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市福祉ふれあいセンター及び中野市さんさん館						
指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				
根拠法令	障害者総合支援法、児童福祉法						
設置条例	中野市福祉ふれあいセンター条例、中野市介護予防拠点施設条例						
施設設置目的	身体障がい者及び心身障がい者の福祉の増進を図る。						
施設概要	事務室、作業室、保育室、相談室、会議室、訓練室他						
施設の主な実施事業	中野市福祉ふれあいセンター(身体障害者福祉センター、共同作業訓練施設【竹馬】、母子通園訓練施設【いちご学園】) 中野市さんさん館(介護予防拠点施設)、中野市福祉ふれあいセンター永田分場(共同作業訓練施設【たんぼぼ】)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	別紙のとおり					0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	46,599,000	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	47,108,517	48,545,000	-1,436,483	47,080,917	45,220,783	1,860,134
	自主事業	0	0	0	0	0	0
合計	47,108,517	48,545,000	-1,436,483	47,080,917	45,220,783	1,860,134	
職員の配置状況	ふれあいセンター及びさんさん館(西条) : 所長1名、所長代理1名(兼務)、指導員6名、保育士2名、看護師2名 永田分場たんぼぼ(永田) : 分場長1名(兼務)、指導員2名、担当職員1名 以上合計14名(常勤12名、臨時2名)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
①利用者の増について ・施設内の感染症対策の徹底及び環境づくり ・魅力のある講座の実施 ・病院等との連携による積極的な受入れ ・関連事業所との連携、継続的な通所支援	→	施設内では感染予防のための手指消毒液等の設置や予防に関わる周知・注意喚起を実施、開催時間帯を分けるなど工夫、利用者ニーズの把握に努めている。いちご学園では北信総合病院の先生によるリハビリ等を行う。作業所では施設外就労など多種多様な訓練に取り組んでいる。以上改善の取組みが認められる
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・コロナ禍ではあったが、人数制限したことで安心して参加することができた。	→	引き続き感染予防に努める
【苦情・改善の要望】 ・開催時期の変更希望	→	講師や参加者の意見を聞き検討

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	利用者数の減少はコロナウイルス感染症の影響がありやむを得ない。感染症対策を優先しながら状況を注視していく必要がある。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	別紙のとおり		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	別紙のとおり		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	別紙のとおり		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり		
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		

3 事業の実施状況

区分	評価内容	身体障害者福祉センター	共同作業訓練施設「竹馬」	母子通園訓練施設「いちご学園」	永田分場「たんぼぼ」	中野市さんさん館													区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	○	○	◎	△	○													A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	○	○	○	○													
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○	○	○	○	○													
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○	○	○	○	○													
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○	○	○	○	○													
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○	○	○	○	○													A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○	○	○	○	○													
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○	○	○	○	○													
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○	○	○	○													
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○	○	○	○													
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○	○	○	○													A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○	○	○	○													
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか。	○	○	○	○	○													
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか。	○	○	○	○	○													
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○	○	○	○													
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○	○	○	○													
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○	○	○	○													
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○	○	○	○													
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか。	○	○	○	○	○													
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○	○	○	○													A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○	○	○	○													
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○	○	○	○													
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○	○	○	○													

	利用区分等(単位)	令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	身体障害者福祉センター利用者数	8,488	7,916	107.2%
	共同作業訓練施設竹馬利用者数	2,468	2,708	91.1%
	母子通園訓練施設利用者数	501	403	124.3%
	中野市さんさん館利用者数	1,151	1,084	106.2%
	永田分場たんぼ利用者数	462	524	88.2%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	13,070	12,635	103.4%
施設 使用 回数 (回)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
		施設利用回数 合計	0	0
施設 利用 料金 (円)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
		施設利用料金 合計	0	0

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	健康福祉部福祉課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市精神障害者社会復帰施設						
指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				
根拠法令	障害者総合支援法						
設置条例	中野市精神障害者社会復帰施設条例						
施設設置目的	精神障がい者の社会復帰の促進を図る。						
施設概要	中野市りんごの木共同作業所(作業室、展示室、休養室、食堂、事務室等) 中野市びあワーク就労支援施設(作業室、静養室、会議室、食堂、事務室等)						
施設の主な実施事業	条例に定める事業(生活訓練、作業訓練、就労指導)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	別紙のとおり					0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	12,765,000	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	12,346,500	13,113,000	-766,500	12,299,630	12,491,256	-191,626
	自主事業	68,693,894	69,361,000	-667,106	67,006,248	60,272,380	6,733,868
合計	81,040,394	82,474,000	-1,433,606	79,305,878	72,763,636	6,542,242	
職員の配置状況	りんごの木(南宮) : 所長(兼務)1名、指導員3名(うち社会福祉士1名) 計3名 びあワーク(三好町) : 所長(兼務)1名、サビ管1名、職業指導員1名、生活支援員3名、目標工賃達成指導員2名、事務職員兼生活支援員2名 計10名(正規職員2名(社会福祉士、精神保健福祉士)、嘱託職員4名(介護福祉士1名)、臨時職員4名)						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
①利用者の増について ・関係機関との連携やニーズの掘り起こし ・感染症対策の徹底と安心した通所への環境づくり	→	3名が一般就労へ繋がり就労移行実績上げている。新規5名も延べ利用者数は前年を下回る結果。コロナ禍により北信病院の社会生活技能訓練は実施できなかった。昼食及び送迎サービスは利用者から評価、特別支援学校からの希望者が増。施設外就労も新たに2社と契約。 感染対策として作業室分散、飛翔防止パネルを設置、天井照明をLED化し、安心・安全な作業確保に努めている
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・多種多様な作業品目があり、いろいろな経験ができる。 ・個別の社会生活技能訓練が受けられ、安心して通所できているので継続して欲しい。	→	目標工賃達成指導員を中心に、新規作業を開拓し、ニーズに対応できる取組みをしている。
【苦情・改善の要望】 ・作業室の照明が暗く、作業しにくい。 ・コロナ禍ではあるが、みんなで食事をしたい。	→	天井照明をLED化し、環境を整えた。 外注弁当での会食を実施。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	利用者数の減少はコロナウイルス感染症の影響もありやむを得ない。感染症対策を優先しながら状況を注視していく必要がある。	B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	別紙のとおり		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	別紙のとおり		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	別紙のとおり		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり		
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況
利用者数の前年比割れ	引き続き感染症対策に取組み、安心安全な施設環境を確保していく必要がある。 新規利用者の掘り起こしを関係機関と連携しながら行っていくこと、コロナ禍でもサービスが維持できるよう引き続きの努力と、好評を頂いているサービス等はPRなど工夫しながら新規利用者増に繋げていただくよう依頼していく。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	B	・作業施設利用について、びあワークでは、3名が一般就労に結びつき、一昨年からの引き続き就労移行の実績を上げている。就労移行後も本人の希望により1カ月に一度の面談を行い就労継続に繋げている。3名が一般へ移行し利用が終了となったため、新規に5人の利用があったが延べ利用人数は前年度を下回る結果となった。
(2) 財務の視点	A	・収入については計画どおりであったと認められる。
(3) 業務の視点	A	業務について、北信病院の作業療法士による社会生活技能訓練はコロナ状況下で実施できなかったが、事業所内の精神保健福祉士により実施し、自己対処能力の向上と事業所内の様々なトラブル解消に対応するものとして利用者からも評価されている。感染症対策として、3蜜を回避するため引き続き作業室を分散し、飛散防止パネルを設置し安心・安全な作業環境の確保に努めている。
(4) 人材の視点	A	また、昼食提供サービス、送迎サービスを実施、特別支援学校からの実習希望が増えていく。施設外就労先に新たに2社と契約し、より多くの施設外就労先での訓練に取り組む環境が整っている。
総合評価	B	職員の研修では、部会等の参加により資質向上に努めている。苦情・要望について、毎日行う朝夕の職員ミーティングにより対応がなされている。また毎月工賃支給での所長面談により、利用者からの苦情を受け付ける流れが出来ている。
一部改善が必要		

施設利用状況

(別紙)

	利用区分等(単位)	令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	中野市りんごの木共同作業所	1,935	2,282	84.8%
	中野市びあワーク就労支援施設	5,121	5,711	89.7%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	7,056	7,993	88.3%
施設 使用 回数 (回)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
		施設利用回数 合計	0	0
施設 利用 料金 (円)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
		施設利用料金 合計	0	0

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	くらしと文化部文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市民プール						
指定管理者	シンコースポーツ株式会社長野支店	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日				
根拠法令	なし						
設置条例	中野市体育施設条例						
施設設置目的	市民体育の向上を図るため						
施設概要	プール						
施設の主な実施事業	プール施設管理運営業務、指定管理者による自主事業(物販、水泳教室などのイベント)						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	プール利用者数(人)		9,417	3,882	242.6%		
	プール利用料収入(円)		1,061,900	410,100	258.9%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	8,148,148	市収入額	1,061,900
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	8,148,148	8,148,148	0	8,148,148	7,985,446	162,702
	自主事業	200,000	155,454	44,546	257,475	228,967	28,508
合計	8,348,148	8,303,602	44,546	8,405,623	8,214,413	191,210	
職員の配置状況	現場責任者1名、現場副責任者1名、プール監視員及び受付員15名 合計17名 (正規職員2名、臨時職員15名)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
新型コロナウイルス蔓延防止対策として、臨時休館による入場者数の人数制限を実施したことが主な利用者減少の要因と思われる。 令和3年度においても同様にコロナウイルス感染症リスク下での営業となるが、来場者間および職員と来場者との対人距離確保、共用部分のこまめな清掃およびアルコール消毒作業等の可能な限りの感染防止対策について対策を講じるとともに、感染防止措置を取った上での施設営業である旨を広報しながら、利用者の増加に努めます。	→	利用者数及び利用料が前年に比較して大幅に改善が図られた。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・自宅から近く気軽に来れるのはありがたいので、コロナ禍でも営業してもらってうれしい ・泳ぐように、コースロープでコースが確保されているのがよい ・良く利用しています。料金が安価で、スタッフの対応が良い、安心できる	→	・近隣に気軽に利用なプールがあること、屋外プールの広々とした開放感を好む利用者は一定数存在するため、今後も利用者のニーズを取り入れた管理運営を継続していくことが望まれる。 ・水泳愛好者にも配慮して、スイム専用コースを設けていることについて好評を得ている ・監視員の研修・教育は日常的に実施している
【苦情・改善の要望】 ・シャワーが水しか出ないので温水にしてほしい ・人口芝が古くなっていて歩くと足が痛い	→	・給湯設備を新たに設置する必要があるため、担当課と協議する必要がある ・プールサイド人工芝の経年劣化は広範囲であるため、修繕予算の中で毎年部分的に修繕を実施している

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	コロナ対策を徹底し、昨年度のように臨時休場も無かったため、利用者が増加したと思われる。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	・新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、良好な管理業務が行われている。 ・利用者数及び利用料の大幅な改善が図られた。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	くらしと文化部文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市民体育館ほか体育施設						
指定管理者	中野市体育協会	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)				
根拠法令	なし						
設置条例	中野市体育施設条例、中野市B&G海洋センター条例						
施設設置目的	市民体育の向上を図るため						
施設概要	中野市民体育館ほか14施設						
施設の主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	別紙のとおり				0.0%		
					0.0%		
					0.0%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	56,496,000	市収入額	6,635,675
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	60,968,599	57,460,000	3,508,599	61,175,641	56,521,799	4,653,842
	自主事業	390,000	390,000	0	414,264	414,264	0
合計	61,358,599	57,850,000	3,508,599	61,589,905	56,936,063	4,653,842	
職員の配置状況	事務局長:1名、事務員:6名、施設管理員1名《うち兼務2名》合計8名 (常勤3名、非常勤5名)						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
利用者数減少の主因は新型コロナウイルス感染拡大対策による利用団体の活動自粛や大会中止であり、令和3年度中に以前の状態へ戻ることは難しいものと考えられます。 一部には今後のスポーツ活動に対する意欲の低下もみられることから、加盟団体を中心とした支援や感染対策を考慮しながら可能な活動範囲の拡大を図ります。	→	新型コロナウイルス感染対策を実施したうえで、取組みを行っているが、利用回数を除き、利用者数及び利用料金は前年度並みの数字を確保できた。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 施設の予約方法について丁寧に教えていただけて感謝しています。	→	複数施設を長期間、連続で使用する場合の予約の調整や、大会等における施設利用方法など必要に応じて相談するなど対応している。
【苦情・改善の要望】 ①タバコの吸い殻、ゴミが散乱している。 ②マイマイガの大量発生による苦情が多数寄せられる。 ③北公園内での大型犬や多頭数の放し飼いを止めさせてほしい。 ④犬の糞を片付けてほしい。 ⑤受付職員の態度が悪い。 ⑥トイレ内が汚物だらけなので片付けてほしい。	→	①タバコの吸い殻や弁当くずなどのゴミが大量に投棄され、近隣からの苦情が度々ある。その都度、巡回、回収処分している。 ②施設のナイター照明に大量のマイマイガが飛来し、近隣住宅に被害が出ている。施設や樹木の卵除去等できる範囲の対策を行い、住民のご理解を頂くようにしている。 ③来園者同士のトラブルに発展することもあり、巡回時に注意を呼びかけている。 ④北公園内ではペット犬の散策者も多く、糞を放置していく方も多いため、注意看板の設置や直接飼い主へのお願いをしている。 ⑤個別指導を実施し、重大案件や繰り返し苦情がある場合は解雇または配置転換をしている。 ⑥トイレの床一面が汚物だらけであったり、便器等に塗りつけられる事があり、その都度清掃消毒を行っている。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	新型コロナウイルスの対応が競技団体により大きく異なり、施設によりばらつきはあるものの全体とすれば前年比18.6%の増	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	別紙のとおり		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	別紙のとおり		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	別紙のとおり		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり		
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	新型コロナウイルス感染対策を実施しながら利用状況の回復に努め、必要な修繕については計画的に進めてほしい。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

	利用区分等(単位)	令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	市民体育館	14,192	16,780	84.6%
	武道館	5,426	4,888	111.0%
	市営野球場	13,180	9,674	136.2%
	市営運動場	9,012	6,007	150.0%
	屋内運動場	4,102	5,395	76.0%
	弓道場	1,594	1,305	122.1%
	コミュニティスポーツセンター	17,238	11,673	147.7%
	市営テニスコート	17,024	10,474	162.5%
	篠井川河川敷運動場	1,197	1,371	87.3%
	B&G海洋センター体育館	6,462	6,729	96.0%
	B&G海洋センター第2体育館	1,758	2,173	80.9%
	B&G海洋センター会議室	148	184	80.4%
	B&G海洋センタープール	452	267	169.3%
	豊田野球場	5,497	4,532	121.3%
	豊田テニス場	277	547	50.6%
	豊田運動公園マレットゴルフ場他	345	525	65.7%
	施設利用状況 合計	97,904	82,524	118.6%
施設 使用 回数 (回)	市民体育館	359	542	66.2%
	武道館	294	350	84.0%
	市営野球場	248	227	109.3%
	市営運動場	196	134	146.3%
	屋内運動場	288	358	80.4%
	弓道場	715	938	76.2%
	コミュニティスポーツセンター	1,404	1,319	106.4%
	市営テニスコート	1,623	2,168	74.9%
	篠井川河川敷運動場	61	61	100.0%
	B&G海洋センター体育館	530	528	100.4%
	B&G海洋センター第2体育館	167	183	91.3%
	B&G海洋センター会議室	13	15	86.7%
	B&G海洋センタープール			0.0%
	豊田野球場	120	113	106.2%
	豊田テニス場	85	138	61.6%
	豊田運動公園マレットゴルフ場他	49	102	48.0%
	施設利用回数 合計	6,152	7,176	85.7%
施設 利用 料金 (円)	市民体育館	585,450	696,100	84.1%
	武道館	286,430	325,120	88.1%
	市営野球場	1,418,800	1,174,000	120.9%
	市営運動場	646,250	307,800	210.0%
	屋内運動場	418,010	417,315	100.2%
	弓道場	101,680	121,370	83.8%
	コミュニティスポーツセンター	1,102,460	1,266,465	87.1%
	市営テニスコート	1,144,650	1,473,550	77.7%
	篠井川河川敷運動場	0	0	0.0%
	B&G海洋センター体育館	630,475	431,100	146.2%
	B&G海洋センター第2体育館	39,900	51,900	76.9%
	B&G海洋センター会議室	6,100	3,400	179.4%
	B&G海洋センタープール	41,800	21,200	197.2%
	豊田野球場	132,000	62,400	211.5%
	豊田テニス場	81,570	167,740	48.6%
	豊田運動公園マレットゴルフ場他	200	4,700	4.3%
	施設利用料金 合計	6,635,775	6,524,160	101.7%

3 事業の実施状況

区分	評価内容	市民体育館	武道館	市営野球場	市営運動場	屋内運動場	弓道場	コミュニティスポーツセンター	市営テニスコート	篠井川河川敷運動広場	海洋センター体育館	海洋センター第2体育館	海洋センタープール	豊田野球場	豊田テニスコート	豊田マレットゴルフ場	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	△	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	○	△	◎	◎	△	△	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	○	○	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	くらしと文化部文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市多目的サッカー場						
指定管理者	中野市体育協会	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)				
根拠法令	なし						
設置条例	中野市体育施設条例						
施設設置目的	市民体育の向上を図るため						
施設概要	サッカー場						
施設の主な実施事業	貸館事業・指定管理者による自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	多目的サッカー場利用者数(人)		25,482	22,106	115.3%		
	多目的サッカー場利用回数(回)		690	847	81.5%		
	多目的サッカー場利用料金(円)		589,150	1,249,050	47.2%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用	指定管理料額	5,280,000	市収入額	589,150	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	6,205,702	5,760,000	445,702	6,180,665	5,399,122	781,543
	自主事業	200,000	200,000	0	149,965	149,965	0
	合計	6,405,702	5,960,000	445,702	6,330,630	5,549,087	781,543
職員の配置状況	事務局長:1名、事務員:6名、施設管理員1名《うち兼務7名》、パート1名、合計9名 (常勤3名、非常勤5名、パート1名)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
利用者数減少の主因は新型コロナウイルス感染拡大対策による利用団体の活動自粛や大会中止であり、令和3年度中に以前の状態へ戻ることは難しいものと考えられます。 一部には今後のスポーツ活動に対する意欲の低下もみられることから、加盟団体を中心とした支援や感染対策を考慮しな	→	利用人数が前年に比較して15.3%増加した。引き続き、利用拡大に努める。
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】	→	
【苦情・改善の要望】 ①イベント予約で施設を抑えられているが、実際に使われていないことがあるので調整してほしい。 ②トイレが詰り水が溢れている。 ③大会開催中に部外者がトイレを使用している。新型コロナ感染対策のため、サッカー場利用者以外のトイレ使用を禁止してほしい。	→	①より多くの方に利用していただくため、大会等の予約者に対しては余分な使用時間が無いように要請している。 ②大会開催時はできる限り当日応急対応をした。 ③部外者でトイレを利用していた特定の団体に対し、使用禁止の注意するなど、施設利用者以外のトイレ使用を原則禁止とした。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	前年比15.3%増、新型コロナウイルスによる団体活動の自粛が前年より減少したと思われる。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	・新型コロナウイルス感染症の影響下のなかで利用回数及び料金が減少しているが、良好な管理業務が行われている。 ・今後も感染対策を実施しながら、利用者の増加に努めてほしい。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	農業振興課	評価対象年度	R3		
施設名称	中野市農村環境改善センター帯の瀬ハイツ						
指定管理者	公益社団法人中野広域シルバー人材センター	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令	-						
設置条例	中野市農村環境改善センター条例						
施設設置目的	農業に従事する者並びに市民の相互理解と連携を図り地域農業や市民生活の向上に資するため。						
施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室、多目的ホール						
施設の主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業(帯の瀬の日、売店設置、健康教室、絵付け体験、鯉のぼり掲揚、寺子屋)						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	施設利用状況(延人数)		5,101	4,171	122.3%		
	施設利用日数(日)		214	177	120.9%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	10,224,000	市収入額	75,245
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	10,284,343	10,224,000	60,343	10,294,438	10,289,489	4,949
	自主事業	11,152	154,331	-143,179	169,419	154,331	15,088
合計	10,295,495	10,378,331	-82,836	10,463,857	10,443,820	20,037	
職員の配置状況	館長(兼務)1名、主任1名、就業会員4名、運転手1名 計7名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
令和2年年度から実施した健康教室の開催や創作土人形絵付け体験に加え、新たな自主事業として夏休み期間中、小中学生を対象に学習の場として、寺子屋を開催する等、新企画に取り組み新たな利用者層の獲得に努める。	→	寺子屋 帯の瀬、鯉のぼりの掲揚を企画、実施し新たな利用者の獲得に努めた。新型コロナウイルス感染症の第5波・第6波の影響もあり、少人数の利用にとどまった。
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 気軽に職員とは話せて、安心感がある。 利用にあたり、気遣いをしていただき、快適に過ごすことが出来ている。 トイレやお風呂が綺麗に清掃されていて気持ちが良い。	→	高齢者の利用が多く、快適に利用していただくためにコミュニケーションを取っている。
【苦情・改善の要望】 部屋を暖かくしてほしい。 和式トイレが洋式になると嬉しい。	→	暖房については、利用状況や利用時間を把握して調整を行った。 トイレの改修については、利用状況を把握し検討を行う。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は下半期に閉館期間があったが、令和2年度利用人数を若干上回った。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	◎	幅広い年齢層の利用啓発を図るため、小中学生のための寺子屋を新たに実施した。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設を閉館したが、閉館中も施設管理を適切に行うなど感染拡大防止に努めたことを評価したい。また、設置のアンケートとともに、利用者に向き合い、要望に対応出来た。令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止や事件、事故が発生しないよう防止対策の徹底をお願いしたい。令和4年度は現在計画のある新たな自主事業の実施や令和3年度に実施した寺子屋を継続し周知することで、新規利用者層のさらなる拡大を図りたい。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	商工観光課		評価対象年度	令和3年度	
施設名称	中野陣屋・県庁記念館						
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野陣屋・県庁記念館条例						
施設設置目的	歴史及び文化とのふれあいを通じ商業の振興を図る。						
施設概要	コミュニティールーム、常設展示室、資料展示室、会議室、土蔵資料館、カフェ						
施設の主な実施事業	管理運営事業、指定管理者による自主事業（喫茶事業、陣屋特別展、ミニギャラリー展示）						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	中野陣屋・県庁記念館利用者数(人)			21,257	17,464	121.7%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	9,550,648	市収入額	45,000
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	9,189,628	10,972,000	-1,782,372	9,190,325	9,483,514	-293,189
	自主事業	5,110,936	4,206,000	904,936	3,929,832	4,377,087	-447,255
合計	14,300,564	15,178,000	-877,436	13,120,157	13,860,601	-740,444	
職員の配置状況	館長1名、主事1名、臨時職員1名 計3名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
魅力ある企画展、特別展を開催する。また、喫茶においては、徹底した新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら営業し、信州の安心なお店への登録のほか、テイクアウトや信州Go To Eatキャンペーンなどの事業に参画するなど積極的な集客に努めていく。	→	令和3年度も新型コロナウイルス感染症により、特別展が中止となるなど、来館者が平常時に比べ減少している中で、自主事業を積極的に行うなど、2年度よりも来館者数は増加した。
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 なし	→	
【苦情・改善の要望】 なし	→	

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	昨年度もコロナウイルスの影響による休館等により利用者が著しく減少したが、様々な取り組みにより昨年度よりも来館者数は増加した。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	令和3年度も新型コロナウイルス感染症により、特別展が中止となるなど、来館者が平常時に比べ減少している中で、様々な取り組みにより2年度よりも来館者数は増加した。今後もアフターコロナを見越したサービス展開とPRを実施し、費用対効果を高めると良いと考える。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市観光会館・日本土人形資料館						
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市観光会館条例						
施設設置目的	中野土人形と全国の土人形の展示と絵付け体験の普及						
施設概要	鉄筋コンクリート造平屋建 展示室・体験室・茶室・会議室・トイレ・事務室・倉庫・前庭・駐車場						
施設の主な実施事業	土人形の展示と絵付け体験						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	観覧者利用人数(人)		2,611	2,727	95.7%		
	絵付け体験者数(人)		651	701	92.9%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	8,023,888	市収入額	312,720
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	9,451,035	9,643,000	-191,965	9,451,979	8,929,956	522,023
	自主事業	4,935,919	1,357,000	3,578,919	3,492,390	586,300	2,906,090
合計	14,386,954	11,000,000	3,386,954	12,944,369	9,516,256	3,428,113	
職員の配置状況	館長1名、絵付け指導員3名(パート2名) 計4名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】	→	
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	○		A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者の減少は理解できるが、ウィズコロナ・アフターコロナを見据える中で、効果的なイベント等の実施により、誘客が増加することを期待する。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	信州中野観光センター						
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市観光特産条例						
施設設置目的	恵まれた自然条件及び地域特性を生かした観光並びに地場産業の振興を図る。						
施設概要	ホール、事務室、トイレ、倉庫、駐車場						
施設の主な実施事業	管理運営事業・自主事業(アンテナショップ・売店・イベント・通販事業)						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	利用者		19,351	18,160	106.6%		
					0.0%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	9,732,962	市収入額	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	7,628,489	12,236,000	-4,607,511	7,628,507	11,618,482	-3,989,975
	自主事業	16,897,770	12,083,000	4,814,770	18,970,370	14,237,362	4,733,008
合計	24,526,259	24,319,000	207,259	26,598,877	25,855,844	743,033	
職員の配置状況	館長1名、主事1名、臨時職員2名 計4名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
ギフトカタログ及びアンテナショップ商品については、館外へのポスター及び看板等の設置のほかFacebook等のSNSで積極的に情報発信を行う	→	Facebookの投稿を頻繁に行っていることで、フォロワー数が増加傾向である。
ギフトカタログについては、インターネットでの購入、クレジット決済などデジタル化に対応しているが、今後は、アンテナショップ商品の購入についても需要に応じてインターネットによる販売などデジタル化の導入を検討する	→	キャッシュレス決済PayPayを導入した。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】	→	
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	○		A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	◎		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	コロナ禍における状況で利用人数の減少が続いているものの、自主事業での通販等による販売促進は評価できることから、積極的な情報発信を期待する。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市晋平の里間山温泉公園						
指定管理者	株式会社リープクリエイティブス	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市間山温泉公園条例						
施設設置目的	市民のふれあいと健康の増進及び観光の振興を図るため						
施設概要	ぼんぼこの湯:鉄筋造平屋建、温泉施設、機械室、駐車場 マレットゴルフ場:木造平屋建、18ホール、休憩所、トイレ ログコテージ:木造平屋建(2棟)						
施設の主な実施事業	管理運営事業、指定管理者による自主事業(売店事業、食堂事業、イベント開催)						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	間山温泉公園ぼんぼこの湯利用者数(人)		64,531	40,406	159.7%		
					0.0%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	0	0	0	0	0	0
	自主事業	35,417,900	66,187,000	-30,769,100	50,609,175	57,427,168	-6,817,993
合計	35,417,900	66,187,000	-30,769,100	50,609,175	57,427,168	-6,817,993	
職員の配置状況	職員:2名、出向職員1名 合計3名 他に施設長1名(非常勤)、防火管理者1名(非常勤)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】	→	
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎		A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	施設利用者に対して適切に対応していた。特に自主事業においては、キャンプ場やサウナ等のアウトドア事業を実施し施設の利用促進する活動に取り組んでいた。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野地域職業訓練センター						
指定管理者	職業訓練法人中高職業訓練協会	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市地域職業訓練センター条例						
施設設置目的	地域における労働者、求職者等に対し各種職業訓練を行い、職業の安定と労働者の地位向上を図るため						
施設概要	鉄筋コンクリート造2階建【教室棟(第1～5研修室、多目的ホール、視聴覚室、事務室、調理室、和洋室、トイレ、倉庫)、実習棟(実技室、研修室、実習室、トイレ)、駐車場】						
施設の主な実施事業	施設の管理業務、自主事業(職業能力開発校ほか)						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	認定訓練		2,927	2,360	124.0%		
	公共職業訓練		2,877	2,394	120.2%		
	研修、講習会等		11,136	8,525	130.6%		
	その他(会議、展示会等)		7,401	4,784	154.7%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	5,490,000	5,490,000	0	5,647,158	5,647,158	0
	自主事業	33,166,000	33,166,000	0	33,376,606	33,376,606	0
合計	38,656,000	38,656,000	0	39,023,764	39,023,764	0	
職員の配置状況	所長・防火管理者:1名 職員:2名 合計3名 (中高職業訓練協会 職員3名のうち3名)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
自主事業による講座受講者の確保	→	前年度比30%以上増加
定時制通信制高校生への資格取得講座	→	4名受講し、各種資格を取得した。
企業向けオーダーコースの企画	→	ニーズ調査や検討を深め、次年度以降の開催に向けた足がかりを築いた。
コワーキングスペース利用者数の増大	→	新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルの変動等により、利用者数の増減はあるものの、着実に増えている。

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・施設は綺麗で使用に特段の問題がない	→	定期的なメンテナンス(清掃業者による清掃やワックス)にて継続的に維持
【苦情・改善の要望】 ・昼食がとれるようなスペースがあるといい	→	新型コロナウイルス感染症対応にて基本的には館内飲食を禁止(終日を通しての講座など一部においては各研修室で飲食可とする)

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	コロナ禍においても、展示会等がやや増えた事と自主事業の認定訓練(普通課程・短期課程)及び求職者訓練の受講者の増加により前年比134%	S
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	◎	自主事業(求職者訓練など)に役立てるために、事務長が国家資格キャリアコンサルタントを取得した。これにより、よりきめ細かい相談業務を行えるようになっている。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	◎	7年目となる「女性のための就職支援セミナー&パソコン講座」を受託実施し、ITフリーランス(在宅ワーカー)養成のコースを新設し3名を輩出。令和2年度の修了生による業務受託も行った。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○	前年より増加したが新型コロナウイルス感染症の影響で本来の利用者数には至らず	A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	S	○新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大前の水準には戻っていないものの、パソコン講座での再就職応援プランの作成、女性のための就職支援セミナー&パソコン講座での在宅ワーカーの養成等、独自の企画により、利用者数の増加に繋がる取り組みを推進している。 ○新型コロナウイルス感染防止策については、徹底されており、施設利用申込者への丁寧な説明及び報告があった場合の速やかな連絡対応など、業務体制が十分にとれていた。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部商工観光課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市まちなか交流の家						
指定管理者	なつちよ合同会社	指定期間	令和3年4月1日～				
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市まちなか交流の家条例						
施設設置目的	土人形の振興を通じて市街地の活性化に資するため、まちなか交流の家を設置する。						
施設概要	体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、倉庫						
施設の主な実施事業	施設の管理運営、土人形の絵付け指導、指定管理者による自主事業（施設内絵付け体験事業、出張絵付け体験事業、土人形制作販売及び付随品の販売、中野土人形販売）						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	来館者数(人)		952	568	167.6%		
	絵付け体験者数(人)		1,342	885	151.6%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用	指定管理料額	8,738,480	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	8,738,480	8,738,480	0	8,738,480	8,740,369	-1,889
	自主事業	1,145,000	960,000	185,000	1,656,420	885,173	771,247
合計	9,883,480	9,698,480	185,000	10,394,900	9,625,542	769,358	
職員の配置状況	職員:2名、出向職員1名 合計3名 他に施設長1名(非常勤)、防火管理者1名(非常勤)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】	→	
【苦情・改善の要望】	→	

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	様々な企画を行い、メディアにも多数取り上げられた。コロナ禍ではあるが、小学校でのクラブ活動など予定通り実施できた。新たにホームページとSNSのデジタルと、チラシ・カタログのアナログでの広報活動を行った。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	—		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	◎		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○	原材料価格の上昇分及び消費税分を考慮し価格を見直したことで、新商品・新サービスにより半場収入が増加した。	S
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	◎		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	◎		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	◎		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○	改善指示はなかった。	A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	◎		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○	法定では必要ないが、就業規則や各種規定を整備した。	A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	◎		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	コロナ禍ではあるが、イベントの開催や新商品の発売をしており、自主事業の販売収入も評価できる。
(2) 財務の視点	S	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	商工観光課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市関係人口創出拠点施設						
指定管理者	中野市リビングソフト促進共同事業体 代表者 株式会社 リープクリエイティブス	指定期間	令和3年10月1日～令和7年3月31日				
根拠法令							
設置条例	中野市関係人口創出拠点施設条例						
施設設置目的	関係人口の創出・拡大を通して地域社会の活性化に資すること。						
施設概要	交流スペース、コワーキングスペース・レンタルオフィス、多目的ルーム(宿泊、オフィス利用)						
施設の主な実施事業	貸しスペース事業・飲食店運営事業、宿泊事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	チャレンジショップ・フリースペース利用者数(人)		3,259	-	0.0%		
	宿泊者利用数(人)		193	-	0.0%		
	コワーキング・レンタルオフィス利用者(人)		11	-	0.0%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	880,000	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	3,380,000	3,380,000	0	2,501,476	4,345,152	-1,843,676
	自主事業	1,300,000	1,300,000	0	3,002,515	2,533,084	469,431
合計	4,680,000	4,680,000	0	5,503,991	6,878,236	-1,374,245	
職員の配置状況	責任者1名、清掃員1名 計2名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 いつもいろいろな催し・出店者がいて毎回楽しみな施設である。	→	今後もいろいろな施策にチャレンジする。
【苦情・改善の要望】 駐車場の位置がわかりづらい。	→	専用のマップを制作し、配布・看板の設置を検討する。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	-		A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	◎	市民参加型のイベントを実施した。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	△	初年度ということもあり、宿泊とコワーキングスペースの利用者数が伸び悩んだ。	B
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		B
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	△	事務処理が間に合わず、業務報告書の提出が遅れることがあった。	
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況
① 計画どおり収入が得られたか	施設の利用率向上に向けて、さらなる情報発信や広告宣伝に努められたい。
③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	事務処理を計画的に行い、遅滞なく施設所管課へ業務報告を行われたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	指定管理業務、自主事業ともに施設利用者に対して適切かつ柔軟に対応していた。特に自主事業においては、飲食業を中心としたチャレンジショップを随時実施するなど施設の利用促進、地域活性化に資する活動に取り組んでいた。 なお、宿泊利用者数及びコワーキング利用者数の目標値を達成できなかったことから、効果的な情報発信を行うなど施設利用者の増加に向けて取り組まれたい。 また、月例の業務報告等が適時対応できないことがあったことから、事務処理の体制を整備するなど改善に努められたい。
(2) 財務の視点	B	
(3) 業務の視点	B	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	B	
一部改善が必要		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	建設水道部 都市計画課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	一本木公園 ・ 一本木公園展示館 ・ 一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム						
指定管理者	一般社団法人 一本木公園バラの会	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)				
根拠法令	都市公園法						
設置条例	中野市都市公園条例						
施設設置目的	公共の福祉の増進に資するため						
施設概要	一本木公園:多目的広場、修景広場、野外ステージ、遊戯広場、林間プロムナード、あずまや(全体面積:3.4ha) 一本木公園展示館、一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム						
施設の主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	(総計)		3,778	2,176	173.6%		
	一本木公園展示館来館者数(人)		1,216	599	203.0%		
	一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム来館者数(人)		2,562	1,577	162.5%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	31,100,000	市収入額	18,480
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	32,273,117	31,250,000	1,023,117	32,224,496	30,021,729	2,202,767
	自主事業	2,903,506	900,000	2,003,506	2,904,090	971,501	1,932,589
合計	35,176,623	32,150,000	3,026,623	35,128,586	30,993,230	4,135,356	
職員の配置状況	事務局員3名、管理作業員13名 計16名						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策を考慮しつつ、既存のイベント及び新規イベントの企画立案をし、「新しい生活」のなかで一本木公園の在り方、魅力の構築に努めることを確認した。	→	近隣及び遠方からより多くのバラファンが癒しを求めて訪れ、改めて公園の存在意義と指定管理者の使命を認識した。オンラインによる詳細な情報、SNSでの拡充を図った。
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 バラがきれいだった。絵の展示会がよかった。	→	日々、バラの生育と除草、公園美化に会一丸となって努めている。展示は地域団体や近隣学芸員とのネットワークにより、実績を増やしている。今後も魅力的な展示で来館者増を目指したい。
【苦情・改善の要望】 展示室の開館時間を増やしてほしい。	→	開館時間は条例に基づくもので変更は難しいと考えるが、休館日としている火曜日の開館については、バラまつりや開催期間や祝日においては臨時開館しているので、今後周知を徹底したい。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	コロナ禍により、公園を閉鎖した昨年の社会情勢から若干の好転もあり、秋のバラ祭りの開催やMOA絵画展の展示等を感染防止対策を講じて挙	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	入館者アンケートをQRコードを用いたオンライン方式を試みるなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が徹底され、安全な憩いの場を提供できた。 また、このような徹底した感染対策の下、秋のバラまつりなどの自主事業を再開させたことを評価する。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	建設水道部 都市計画課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	高梨館跡公園						
指定管理者	有限会社 山本組	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				
根拠法令	都市公園法						
設置条例	中野市都市公園条例						
施設設置目的	公共の福祉の増進に資するため						
施設概要	高梨邸、駐車場、土塁、空堀、庭園、建築跡、木橋ほか(全体面積:1.5ha)						
施設の主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	使用件数(件)		13	4	325.0%		
					0.0%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用	指定管理料額	2,963,886	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	2,980,280	2,963,886	16,394	2,980,281	2,946,430	33,851
	自主事業	0	0	0	0	0	0
合計	2,980,280	2,963,886	16,394	2,980,281	2,946,430	33,851	
職員の配置状況	管理人1名、事務員1名、作業員2名、清掃員2名、合計6名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、イベントや行事等による施設の使用件数が減少した。	→	新型コロナウイルス感染症の落ち着いた時に、積極的に集客に努め、昨年度に比べ施設の使用件数が増加した。
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 館の入り口にアンケートポストを設置している。 公園内の草刈り、木の選定が行き届いている。	→	今後も続けていく。
【苦情・改善の要望】 館の入り口にアンケートポストを設置している。 地元区と何か共催してはどうか。	→	現在は新型コロナウイルス感染症の影響で難しいが、今後地元区と協議し、開催していく。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	コロナ観戦が落ち着いてきた時に利用者が増えたため。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	新型コロナウイルス感染警戒レベルの状況を鑑み、適宜イベント等を開催し、使用件数を増加させたことを評価する。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	建設水道部 都市計画課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	北信濃ふるさとの森文化公園						
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)				
根拠法令	都市公園法						
設置条例	中野市都市公園条例						
施設設置目的	地域住民の文化活動の充実と地域文化の向上を図るため						
施設概要	温室・昆虫館、サマーボブスレー、遊具、マレットゴルフ場、オートキャンプ場、多目的グラウンドほか						
施設の主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	昆虫館利用者数(人)		2,566	1,829	140.3%		
	サマーボブスレー利用者数(人)		11,048	6,822	161.9%		
	こどもの国利用者数(人)		2,218	1,128	196.6%		
	マレットゴルフ場利用者数(人)		7,687	8,039	95.6%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用	指定管理料額	34,150,925	市収入額	4,656,725	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	37,581,680	34,150,000	3,431,680	37,582,686	32,760,869	4,821,817
	自主事業	2,324,074	510,000	1,814,074	2,525,202	301,253	2,223,949
合計	39,905,754	34,660,000	5,245,754	40,107,888	33,062,122	7,045,766	
職員の配置状況	支配人1名、主任1名、パート職員4名 計6名 (その他シルバー人材センター委託)						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
多くのお客様に来てもらえるよう、積極的にPRを行う。	→	公園のHPの施設の写真等をリニューアルし中身を充実させ、宣伝に努めた。HPに施設使用申請書を載せ、利便性を向上させるほか、キャンプ場の予約状況をHPに掲示するなどし、結果集客につながった。
イベント等の見直しを検討し集客に努める。	→	新型コロナウイルス感染症の影響により屋外活動の人气が高まったことから、ボブスレーの改修工事を行うなど施設を整備し、集客増に努めた。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 お客様の声のポストを設置しているが意見は特になかった。	→	特になし。
【苦情・改善の要望】 キャンプ場にシャワーを設置してほしいという要望があった。	→	設備についてアンケートをとったところ、シャワーを求める声が多くないこと、近隣に温泉施設があることから設置しないこととなった。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	前年度が新型コロナウイルス感染症の影響による休館、施設休止のための利用者が著しく減少していたが、屋外施設が多いこともあり本年度は利用者が増加した。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	設備等の経年劣化により、修繕費が年々増加傾向であるなか、感染対策を万全にして自主事業を行った結果、利用者及び収益が増加し、健全な経営ができたことを評価する。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	豊田支所 地域振興課		評価対象年度	令和3年度	
施設名称	中野市豊田農産物加工施設						
指定管理者	中野市豊田農産物加工施設利用組合		指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日			
根拠法令							
設置条例	中野市豊田農産物加工施設条例						
施設設置目的	地域農業振興の向上に寄与することを目的として、農産物加工施設を設置する。						
施設概要	加工室、研修室、材料搬入室、材料庫、熟成室						
施設の主な実施事業	おやき・アップルパイ・味噌等加工品の製造販売						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	利用者数(おやき部)			832	934	89.1%	
	" (菓子部)			1,080	977	110.5%	
	" (みそ部・惣菜班)			428	489	87.5%	
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)		指定管理料額	0	市収入額	0
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	3,082,448	2,787,000	295,448	3,841,314	3,484,136	357,178
	自主事業	0	0	0	24,200	24,200	0
合計	3,082,448	2,787,000	295,448	3,865,514	3,508,336	357,178	
職員の配置状況							

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により加工品の売上が前年度と比較し減少したが、ふるさと納税やNAGANOマルシェ等を活用し、引き続き販路拡大に努め、意欲的に地域農業振興のため取組んでいく。	→	ふるさと納税やNAGANOマルシェ等を活用し収益アップにつなげた。
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 味噌作り体験の参加者7名が楽しかったと回答	→	令和4年度も実施予定
【苦情・改善の要望】 利用者(組合員)に令和6年3月指定管理終了に向けての意向調査を1回実施	→	コロナ禍で利用者(組合員)が集まる研修会や学習会が開催できず、1回しか実施できなかったため、次年度は年数回機会を設けたい。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	○		A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	◎	味噌作り体験の受け入れ実施	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	◎	NAGANOマルシェ、羽田基ショップ、ふるさと納税に登録することにより収益アップにつなげた	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	◎	浄化槽管理費について業者と話し合いを設け、減額の下承を得られた	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	◎	ハサップに添った衛生管理が徹底してきた	A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	ふるさと納税やNAGANOマルシェなどを活用した販路拡大により収益を上げている。 今後も地域農業振興のため、意欲的な活動が展開されることに期待したい。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	豊田支所 地域振興課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市南永江地区地域交流センター						
指定管理者	南永江自治会	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日				
根拠法令							
設置条例	中野市地域交流センター条例						
施設設置目的	地域材の啓発と利用拡大を図るほか、地域住民のコミュニティー活動の助長や交流の場として、地域交流センターを設置する。						
施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室						
施設の主な実施事業	貸館事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	研修室利用者数(人)		22	17	129.4%		
	学習室利用者数(人)		123	149	82.6%		
	調理実習室利用者数(人)		0	0	0.0%		
	会議室利用者数(人)		782	1,092	71.6%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	384,000	384,000	0	239,355	239,355	0
	自主事業	0	0	0	0	0	0
合計	384,000	384,000	0	239,355	239,355	0	
職員の配置状況	防火管理者1名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
公民館分館事業の活用、区民以外の利用の促進に努めている。	→	分館事業による活用を図るとともに、区民および区民以外により構成される団体等に対し、積極的な利用を求めたところ、分館事業は新型コロナウイルスの影響により、一部中止になったが、団体等による利用がなされ、区民以外の利用促進が図れた。
利用者アンケートを実施し、利用者の声を反映した施設の運営を行う。	→	アンケートを実施したが、利用者が地域住民に固定されているので、アンケートが提出されない。
経費の内容を改めて精査し、引き続き経費削減に努めていく。	→	障子戸敷居滑りテープの交換など、管理者で対応が可能な管理業務を積極的に行い、経費削減に努めた。
毎月等の業務の報告を遅滞なく行う。	→	業務報告を遅滞なく行った。

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 地元住民にとって、施設の使用料が無料であり、借用においても手間が少なく、気軽に利用がしやすい。	→	引き続き、利便性を損ねないように努めていく。
【苦情・改善の要望】 鍵の借用において、鍵管理者に限られており、鍵管理者が都合がつかない場合、借用できなくなることから、施設管理の運用体制を見直してもらいたい。	→	鍵の管理者の都合がつかない場合は、別の者に鍵の管理を委任するよう鍵の管理体制を変更した。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	新型コロナウイルス感染拡大により、交流センターを会場とする敬老会等の多くの事業が中止となったが、前年度より研修実施が多くみられた。	B
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	△	アンケートは実施したが、利用者が地域住民に固定されているので、アンケートの提出がなされない。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	—		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	△	不足分は自治会で負担している。	C
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	△	使用料金の徴収の対象となる区民以外の利用促進を図るため、区民および区民以外で構成される団体による利用促進を図り、区民以外への施設のPRを図ったが、区民以外の利用につながらなかった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	—	自主事業は行っていない。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	◎	障子戸敷居滑りテープの交換を行った。清掃は毎月数回、年間で計25回行った。	A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況
② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	利用者が固定されているため、アンケートの提出がなされない。
① 計画どおり収入が得られたか	指定管理料がなく、利用料の収入もなかった。不足分については、自治会で負担している。
② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	施設外に見えるよう、施設利用に関するチラシによるPRを図るとともに、他区民との会議等の場において、施設利用に関するPRを実施していくこととする。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	B	地域住民の交流の場として良好な施設の維持管理をしている。課題の解消と並行し、今後も施設の利用拡大に努めてほしい。
(2) 財務の視点	C	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	C	
抜本的な改善が必要		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	豊田支所 地域振興課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市豊田温泉公園						
指定管理者	株式会社 ユアーズ静岡	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令							
設置条例	中野市豊田温泉公園条例						
施設設置目的	市民の福祉と健康増進に寄与するとともに地域活性化を目的とした豊田温泉公園を設置する。						
施設概要	温泉、食堂、売店、休憩コーナー、ゲートボール場						
施設の主な実施事業	施設の管理運営、自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	利用者数(人)		22,374	33,703	66.4%		
	ゲートボール場利用者数(人)		1,314	1,213	108.3%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	356,482	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	356,482	356,482	0	356,482	356,482	0
	自主事業	29,103,850	29,045,699	58,151	15,646,603	23,321,634	-7,675,031
合計	29,460,332	29,402,181	58,151	16,003,085	23,678,116	-7,675,031	
職員の配置状況	支配人1名(社員)、受付、庶務、施設3名(非常勤1名含む)、調理責任者1名、調理補助6名(常勤2名、非常勤4名)合計11名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
社員教育の徹底を行い、顧客満足度を高めるため、もみじ荘のPRとサービス向上を図り、利用者数の増加につなげていく。	→	研修マナー等を実施し、サービス向上を図った。
社員同士がお互いの業務を把握し合うことを継続し、利用者に対するサービスの向上を図りながら、経費節減に努めていく。	→	社員全員がマルチワーク化することにより、社員同士の業務の把握につながるとともに、経費削減につながった。
施設のリニューアルオープンに向け、継続的に広告に力を注ぎ、集客及び売上げ増加に努めていく。	→	改修に伴い、メディア等の協力もあり、広告につながった。
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】お風呂の湯温、熱くてとても温まる、きれいになった、	→	湯温については時間でチェックし、季節やその日の気温、天気によっても調整ができるようにしていく、清掃はスタッフ全員が気付いたとき、こまめに行う
【苦情・改善の要望】露天風呂が小さい、サウナ用のシャワーが欲しい 露天風呂景色見えない、下駄箱ロッカー使いづらい 食事の価格が高い、以前のメニューがよかった、そばが食べたい	→	露天風呂、シャワーについては、敷地面積や浴室面積などハード面に限界があり、設置等が出来なかった旨を説明し、下駄箱については盗難防止等の観点から目が届く位置に設置した旨説明。食事価格に関しては他のレストランと比べ遜色ない水準だと考えている、又、味・品質も優れているのでむしろ割安であると説明し、現在のメニューの良さをお客様にアピールをして理解して頂けるようにお勧めをしています

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	—	もみじ荘改修工事と改修工事に付随する設備の搬出・搬入等により、7月11日～令和4年1月12日まで6カ月間休業した。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○	アンケートを実施している。また、受付スタッフが常に利用者の声を聴く体制をとっている。これらによりニーズに合わせたサービス向上策を実施している	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○	利用者からの苦情は速やかに対応した	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○	営業時間中、アンケートを実施している。アンケートにより利用者ニーズを把握している	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○	行政からの指示があれば速やかに情報を公開する体制をとっている	
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	—	(1)①同様、6ヶ月間の改修による休館と新型コロナに起因する時短営業のため、年度計画に対しては未達となっている。しかし年度通して営業していないので評価判定できない(収入実績/前年度比54.3%)	A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○	リニューアルオープン後は、施設改修及び料理メニュー変更などによる魅力アップをテレビ局、新聞社などマスコミ各社へ告知広報に努め、前年度同時期実績以上の入館者実績となった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○	人件費はスタッフのマルチワーク化を促進することで低減につとめている。光熱費は節電に努めた。約半年間の休業のため年間を通じての効果の判断が難しいが、設備改修に伴い光熱費のかかる仕組みとなっていること、加えて近時のエネルギーコストの上昇の影響を受けている	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○	指定管理業務(ゲートボール場)、自主事業(もみじ荘)と建物が分けられるので明確に管理できる。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○	備品台帳と照合している。また弊社管理の備品にはその旨のシールを貼付して区別できている	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○	浴場は毎日清掃し、浴槽水は適切に消毒管理を行っている。水質検査を実施し水質に問題がない	A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○	リニューアルオープン前、スタッフ向けにサービスマナー研修を行った。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○	遅滞なく行った	
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○	明記書貼付 明示している	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○	速やかに対応した	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○	緊急連絡網有、「温浴施設地震火災災害対応マニュアル」類は本社にて整備した。防災訓練は、半年に及ぶ休館期間とリニューアルオープン前後の繁忙のため実施出来なかったが、速やかに消防署と連携し進めていく	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○	救急搬送が2回あったが、マニュアルに基づき適切な処置を行った。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○	スタッフへの研修で周知している	
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○	年度協定締結時に協議している	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○	支配人を配置している	A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○	適任者を配置している	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○	朝礼で「サービス業7つの誓い」を唱和して理解とスキルの向上に役立てている	
	④ 労働関係法令を遵守したか	○	遵守している	

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	施設改修工事に伴う休業期間があったため、年間を通してたてた目標に及ばない状況があることはやむを得ないと思われる。 今後、利用者からの要望に丁寧に応じてもらったり、適正な施設管理に努めてほしい。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	豊田支所 地域振興課		評価対象年度	令和3年度	
施設名称	中野市斑尾高原体験交流施設 まだらおの湯						
指定管理者	株式会社 斑尾	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令							
設置条例	中野市斑尾高原体験交流施設条例						
施設設置目的	市民の福祉と健康増進に寄与するとともに地域活性化を目的とした体験交流施設を設置する。						
施設概要	温泉、食堂、売店、キャンプ場、マレットゴルフ場、休憩コーナー						
施設の主な実施事業	施設運営、指定管理者による自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	利用者数(人)		52,189	40,020	130.4%		
	キャビンハウス利用者数(人)		983	645	152.4%		
	キャンプ場利用者数(人)		240	130	184.6%		
	マレットゴルフ場利用者数(人)		66	38	173.7%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	0	0	0	0	0	0
	自主事業	50,150,000	55,114,000	-4,964,000	41,862,387	50,538,300	-8,675,913
合計	50,150,000	55,114,000	-4,964,000	41,862,387	50,538,300	-8,675,913	
職員の配置状況	支配人1名、副料理長1名、庶務1名、調理係2名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
新型コロナウイルス感染予防対策を徹底した施設の管理を引き続き行い、社会情勢に合わせた新たな会食プランを提案する等し、利用者の増加につなげていく。	→	新型コロナウイルス感染予防対策を徹底したことにより、新型コロナウイルスの発生はなかった。
利用者アンケートの回収率向上に努め、利用者の要望等を生かした施設の運営を行う。	→	利用者の要望に応えることにより、利用者数の増加につながった。
ホームページ等での宣伝や食堂の新規メニューの開発、イベントの実施により集客及び売上向上につなげていく。	→	新規メニューの開発や、ホームページ、SNSの活用により集客および売上向上がみられた。
経費全般の内容を改めて精査し、経費削減を行う。	→	経費削減に努めたが、水光熱費の基本料金が高くなったことにより、削減には至らなかった。

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 料理がおいしい。そばがおいしい。	→	現在の質を維持していくこととする。
【苦情・改善の要望】 食堂の営業時間を早くしてほしい。	→	食堂オープン前でも対応できる料理はお出しするようにしている。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	前年度53日の休業があった為。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	△	新型コロナウイルス感染症による影響がある中で利用者は前年比で増加したが、予定した収入には及ばなかった。	B
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況
① 計画どおり収入が得られたか	コロナウイルス感染の影響により、売上額が伸びず、固定費及び他費用の負担額があった為、収入額を超えている。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	赤字経営解消のため、様々な努力を重ねている。今後も利用者の要望に応じながら、リピーターや新規利用者の獲得に努めてほしい。
(2) 財務の視点	B	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	B	
一部改善が必要		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	豊田支所 地域振興課	評価対象年度	令和3年度		
施設名称	中野市豊田ふるさと交流館						
指定管理者	株式会社 斑尾	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令							
設置条例	中野市豊田ふるさと交流館条例						
施設設置目的	市民の世代間、地域づくり団体等の交流の中核施設として活用を図り、都市住民との交流の促進及び文化及び経済の向上を目指し、地域社会の活性化に資することを目的として、交流館を設置する。						
施設概要	道の駅、交流館、特産品販売コーナー、農産物直売所						
施設の主な実施事業	施設運営、指定管理者による自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)		令和3年度実績(A)	令和2年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	食堂客数(人)		35,305	30,351	116.3%		
	売店客数(人)		26,907	23,344	115.3%		
	農産物直売所客数(人)		76,579	66,533	115.1%		
					0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	3,167,588	市収入額	0	
	項目	予算額			決算額		
		収入	支出	収支	収入	支出	収支
	指定管理業務	3,167,588	3,167,588	0	3,167,588	3,732,479	-564,891
	自主事業	91,800,000	94,899,000	-3,099,000	92,283,980	100,077,233	-7,793,253
合計	94,967,588	98,066,588	-3,099,000	95,451,568	103,809,712	-8,358,144	
職員の配置状況	支配人1名、総務1名、売店2名、厨房5名、直売所3名、納税6名 計18名						

2 改善取組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
新型コロナウイルス感染予防対策を徹底した施設の管理を継続することにより、利用者が安心して利用できる施設運営を行う。	→	新型コロナウイルス感染予防対策を徹底したことにより、新型コロナウイルスの発生はなかった。
利用者アンケートの回収率向上に努め、利用者の要望等を生かした施設の運営を行い、利用者数の増加につなげていく。	→	利用者の要望に応えることにより、利用者数の増加につながった。
ホームページ等での宣伝や食堂の新規メニューの開発を行い、集客に努め売上向上につなげていく。	→	新規メニューの開発や、ホームページ、SNSの活用により集客および売上向上がみられた。
経費全般の内容を改めて精査し、経費削減を行う。	→	経費削減に努めた。

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 料理がおいしい。コスパがすごい。	→	現在の質を維持していくこととする。
【苦情・改善の要望】 提供が遅い。時間がかかりすぎ。グラスが汚い。	→	社員教育を行い、改善に努める。グラスの入れ替えを行う。

4 事業の実施状況

区分	評価内容	判定	「◎」もしくは「△」の理由または特記事項を記入	区分評価
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	◎	前年度53日の休業があった為。	A
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	○		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	○		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	○		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	○		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	○		A
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	○		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	○		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	○		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	○		A
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	○		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	○		
	④ 施設の入口及び施設内に指定管理者名、住所、電話番号等の連絡先が明記されているか	○		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	○		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	○		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	○		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	○		
	⑨ 市と業務・役割について、適時かつ綿密に協議したか	○		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	○		A
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	○		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	○		
	④ 労働関係法令を遵守したか	○		

5 改善指導方針

「△」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	A	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続いている中、営業努力を続け、黒字を目指している。 コロナ対策をさらに徹底し、利用しやすい施設としてPRに努め、自主事業部分の誘客が促進されるよう期待したい。
(2) 財務の視点	A	
(3) 業務の視点	A	
(4) 人材の視点	A	
総合評価	A	
良 好		